

切除不能膵癌・胆道癌患者において緩和診療チーム介入をご希望された

患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

[研究課題名]

緩和診療チーム管理栄養士が関わる切除不能膵癌・胆道癌患者への取り組みについて

[当院の研究責任者]

栄養管理室 藤野恵理

[研究の背景]

当院緩和ケアチームは多職種で構成されており、医師、看護師、薬剤師などに加えて管理栄養士も重要な役割を担っている。当院では入院後緩和ケアチームが介入した患者には管理栄養士が個別に栄養指導や定期的な食事調整を行っている。化学療法は味覚異常や倦怠感など食事摂取に影響する副作用が発現しやすい。一方で、体重減少や栄養状態の低下により化学療法を遂行できない事象が発生してしまうため治療のためにも栄養摂取が肝要である。化学療法治療中に食べやすい食事内容を患者が希望されたメニューから検討し、今後の献立内容を再考したい。

[研究の目的]

緩和ケアチームで介入した切除不能膵臓がん・胆道がん患者における栄養介入に着目し、化学療法期間における栄養管理について検討する

[研究の方法]

●対象となる患者さん

切除不能膵がん・胆道がんと診断された患者さんで西暦 2023 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 9 月 30 日の間に緩和ケアチームの介入を受けた方

●研究期間：西暦 2026 年 9 月 1 日から西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、BMI）
- ② 血液所見（Hb, Alb, CRP、総コレステロール、血清亜鉛値）
- ③ 栄養スクリーニング結果、GLIM基準、食事オーダー情報（食種、付加食）
- ④ 治療（投与薬剤）
- ⑤ 体組成測定結果（体脂肪率、筋肉量、握力）

●検体や情報の管理

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

栄養管理室 藤野恵理

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881